

平成22年度 決算

議会からの要望事項

平成22年度決算を認定するに当たり、市長に対して14件の要望を行いました。

5 スポーツ振興について
各種競技の指導者の育成強化に努めること。

その後の運航を継続するかどうかについて早期に結論を出すこと。

1 行政報告書について

各事業の目的を付記し、成果との対比により達成度の分かるような様式に改めること。

2 広報広聴活動について

行政情報全般について、定住促進におけるメールマガジンの配信事例を参考とするなどの方法により、積極的な提供に努めること。

3 交通安全について

高齢化が進展する中、高齢運転者の死亡事故が増加し、また、運転免許証を返納したくとも移動手段としての車を手放せない状況が生じている。関係機関と連携し、高齢運転者に対する講習会の充実等に努めること。

4 防災について

自主防災組織が、十分活動されていない状態の地区が見受けられるので、活動実績のある婦人防火クラブとの連携を図るなどの方法により、組織の育成に努めること。また、高齢化が進展することを第一として検討・計画する

笠岡市勤労者融資貸付事業について

市内在住の勤労者への生活安定と福祉の増進を図るため、有効に貸し付けてできるよう努めること。

6 福祉事業の委託について

委託事業・補助事業の決定においては、事業者の実績・事業計画・遂行能力・資格の有無などを厳正かつ公平・公正に精査し、事業の成果が十分にあがるよう対応をとること。

7 事業の継続実施について

緊急・ふるさと雇用事業など、主に国・県からの補助金により行う事業については、事業内容・事業効果を精査し、その後の継続・廃止を峻別した上で、継続すべき事業については単市での事業実施も考えるなど、財源の確保を図ること。

8 福祉事業のきめ細かい対応について

福祉事業・施策については、福祉の先進都市として、広報誌やホームページに掲載するだけでなく、それぞれの対象者に広く公平・公正に知らせ、そのサービスが利用できるよう、きめ細かい対応をすること。

10 耕作放棄地解消事業について

耕作放棄地になつた原因を調査し、放棄解消につながる農業施策の展開に努めること。

11 耕作放棄地解消事業について

受益者負担金の未納や下水道未接続の現状を調査し、負担金の収納率を上げるとともに未接続の解消を図り、下水道利用者に公平な事業となるよう努めること。

13 下水道施設整備事業について

平成22年度は、入院患者数は若干増加したものの、ここ数年、外来延べ患者数は依然として減少傾向にある。市民に信頼される病院として、医師の確保に全力を挙げるとともに、さらなる職員の意識改革を推し進め、市民病院改革を確実に実行すること。

14 市民病院改革について

島しょ部の介護施設及び施設機能の充実を図るとともに、夢ウエル丸の目的に照らして、その効果を検証し、そ